

# 巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷恵策 SJ

(第五部 聖地巡礼)

51

第十六幕 第一場

フランシスコ会シオン山修道院の応接室 1523年9月

登場人物：巡礼者 イニゴ

フランシスコ会エルサレム管区管区長

フランシスコ会シオン山修道院院長

【語り】 数日後イニゴは修道院長の待つシオン山修道院を訪ねます。

**イニゴ**：お忙しいところ私にお会いくださり有難うございます。

**修道院長**：遠路はるばるようこそエルサレムへ。私にできることが何かありますか？

**イニゴ**：はい、折り入ってお願いしたいことがあります。生涯私がここエルサ

レムに留まることを是非是非ご許可いただきたいのです。わが主が私ども人間をお救い下さるために宣教し、十字架上で死し、三日後に復活され、昇天されたこの聖地で 主キリストのゆかりの場所を巡礼し、祈りながら生涯を捧げたいのです。そのための院長様宛の推薦状もお持ちしています。

**修道院長：**あなたが留まることが出来るかどうか私には分かりません。この修道院はかなり困窮しており、修道士すら生活していくのが難しいので、何人かを皆さんとともにヨーロッパに送り返すことを決定したほどなのです。

**イニゴ：**私は修道院から何も援助を求めることをしません。自分の生活はすべて自分でまかない、皆様に決して負担をかけないことをお約束します。ただ、私が告解に来るときに告白を聞いてくださりさえすれば、それだけで十分です。

**修道院長：**ゆるしの秘跡のためにはいつ来られても結構です。 それだけのことなら勿論いつでも可能です。ただ、貴方が当地に留まれるかどうかについては 私の一存で決めるわけにはいきません。聖地での責任を持つ管区長が決定することです。彼は今ベトレヘムに言ってお

りますので、管区長が帰るまでお待ちください。

**イニゴ**：わかりました。お待ちします。

## 第二場

1523年9月22日  
同じ修道院応接室

**イニゴ**：私のために、面接時間を割いてくださり有難うございます。

**管区長**：留守をしてお会いするのが遅れました。院長からあなたの聖なるお望みについて聞きました。この危険な状況の中で、聖地に生涯留まりたいとの望みをお持ちとのこと、敬服しています。それで、そのことについて時間をかけてじっくり考えたのですが、私のここでの経験からして、やはりお望みに沿うことは難しいと判断しました。

以前からあなたと同じ望みを持った人たちが何人もエルサレムに残ったのですが、何人かは捕虜となり、中には殺された人々もいます。後には、フランシスコ会が身代金を払って捕らわれた人たちを贖い出す責任を負わされるようになり、重荷になっているのです。

**イニゴ**：先日院長様に申し上げた通り、修道院には一切ご迷惑をおかけしないことを約束します。私は是が非でも生涯ここに留まりたいのです。これは単なる気まぐれではなく、熟慮の末の決心ですから曲げるわけにはいきません。

**管区長**：あなたの前に来られここに留められた人たちも皆さんそう言っておられました。しかし何人もの方が捕らわれの身となり、何人もの人が命を奪われたのです。あなたもそうならない様にと私たちが願うからこそあなたの強い望みを知りながらも賛成できないでいるのです。

**イニゴ**：私は、神に絶対の信頼を置いています。神は必ず私を守ってくださるでしょう。私は何物も恐れていません。貴方に服従しないことが罪になるというのではない限り、私は決して決心を翻しません。

**管区長**：神に対するあなたの信頼を疑うのではありません。しかし諸般の事情を考え合わせると、あなたがここに留まることが賢明ではないと結論せざるを得ません。明日出発するお仲間の巡礼団と一緒に帰り下さい。誰がエルサレムに留まり誰は帰るべきかを定める権限を、私は口

一マの聖座から与えられています。この件に関して従わないものがいれば破門する権限さえ聖座から与えられていることを証明する教皇の教書をお見せしましょう。

**イニゴ**：わかりました。私は、教会とその頭でいらっしゃる教皇の権威を認め従います。教書をお見せいただくには及びません。神父様方を信頼していますから。御決定のうちに、神様の私に対するみ旨を見出すように努めます。

**管区長**：それを聴いて安心しました。神がきっとあなたには特別な使命を用意していらっしゃるに違いないと思います。

**イニゴ**：そうかもしれませんが、これからどうすればいいのかまだ私にはわかりません。明日出発と決まりましたので、今日精一杯聖なるところを見納めに巡礼したいと思います。有難うございました。